

平成22年11月27日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名 特定非営利活動法人 三宝会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

利用者参禅体験旅行

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

お寺の宿坊に宿泊し、座禅や朝課の読経など普通の旅行ではむずかしい体験をする。また、諸事情により修学旅行に不参加の利用者が多く、誰もが行ったことのある場所に行くという普通の体験をする。

上記の体験をすることにより、職場の仲間や友人に対する無用な気後れや引け目を感じないようにさせ、利用者自身に経験に基づいた自信を持たせるように働きかけることができる。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

目的地 福井県吉田郡永平寺町、京都

宿泊地 大本山永平寺、大阪

参加予定人数 児童6、退所者1、職員3

目的 利用者同士や退所者との交流の機会をつくり、現在の生活やこれからの自分の進む道や方向性をより具体的に考えさせ、就業意欲や積極性の向上を図る。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

参禅体験では、職員から注意することなどは最小限に抑え、1泊の修業体験の中にそのまま身を投じさせた。雲水さんの指導のもと、どこまで行動でき、協調性が持てるかをじっくりと観察した。

旅行前・旅行中に自己中心的な振る舞いをしていた女子に対し、旅行後に今回の体験や法話の内容を例に取り、注意・アドバイスを職員が行なったところ、その後の言動・行動が目に見えて変化してきている。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

座禅の体験、早朝の掃除などに対し、以外にも「気持ちよかった。」「また、やってみたい。」との声が多くあった。職員が思っている以上に、できる部分が多く見られた。その反面、できない部分や理解できていない部分も多く発見することができ、今後の利用者本人とのかかわり方、またアドバイスをする上での、よい目安になった。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



座禅のようす



座禅の後の法話

時間	内容	参加者
3:50	振浦退作務	起床の声かけも係の音かしますので、菊田も片付け洗面所も行して下さい。
4:10	整列	三階のエレベーター前、正装したスリッパを履いて整列して下さい。 * 長寿寺本山参拝団の皆さんは作務も行いますので、各自格好で本部までお参り下さい。
4:20	出発	光明蔵へ出発します。
4:40	光明蔵拝謁	朝の御挨拶に法話がございます。
5:30	法堂献湯 供養(-)	皆さん全員に御焼香して頂きます。 長寿寺本山参拝団の皆さんに御焼香して頂きます。
	回向	願聖寺本山参拝団の皆さんに御焼香して頂きます。
	朝課	若井院本山参拝団、若田保、渡辺律に御焼香して頂きます。
7:00頃	小食	箸を洗ってお持ち下さい。
了て	講堂杆観	渡辺律、山内を御案内します。

朝はAM 3:50起床



朝の床清掃



二条城にて



清水寺にて